

やさい週間情報(第14号)

平成29年7月14日(金)
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	6,000~	6,000~	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 「むぎとろの日」の宣伝会以降、ながいもの発注が減り、仲卸および市場在庫が非常に多く荷動きは鈍化している。細物・C品の荷動きは比較的良いものの、B品太物を中心に厳しい販売となっている。 次週についても出回り量は減少するが、野菜全般に厳しい販売が続いており、量販店の売価は若干下がってはいるが、まだ平年程の注文数にはなっていない。相場については保合で推移する見込み。
		A3L	6,000~	6,000~			
		A2L	5,500~	5,500~			
		A L	5,000~4,800	5,000~4,800			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B4L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B3L	5,200~5,000	5,200~5,000			
		B2L	4,700~4,500	4,700~4,500			
		B L	4,300~	4,300~			
		B M	4,000~	4,000~			
		C2L	4,400~4,200	4,400~4,200			
C L	4,000~3,800	4,000~3,800					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,800~6,500	6,800~6,500	多い	1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 等階級によっては転送品が直荷を大きく下回る価格で出回っていることに加え、市場・仲卸在庫の多さから厳しい販売となっている。 来週以降については、引続きにんじんの選果作業等により出荷量が少なくなる見込みから、比率の高い太物については緩慢な荷動きが予想される。一方、L・M以下やC品については徐々に引合いが出てくる見込みから、価格については保合での販売となる見込み。
		A3L	6,800~6,500	6,800~6,500			
		A2L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,600~4,200	4,600~4,200			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,700~5,500	5,700~5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,400~4,000	4,400~4,000			
		C2L	4,700~4,600	4,700~4,600			
C L	4,300~4,200	4,300~4,200					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,000～ 6,000～ 5,500～5,300 5,000～4,800 5,200～5,000 5,200～5,000 4,700～4,500 4,300～ 4,400～4,200 4,000～3,800	6,000～ 6,000～ 5,500～5,300 5,000～4,800 5,200～5,000 5,200～5,000 4,700～4,500 4,300～ 4,400～4,200 4,000～3,800		カット 78～98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 北海道産・本県産ともに入荷量は少ないものの、末端売価が高く、特に太物を中心に荷動きが活発でない状態が続いている。また、北海道産・本県産を問わず、安価な転送の案内は非常に多い。 来週についても、入荷量は少ないものの、需要は回復しきらず、価格は弱保合となる見込み。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	6,800～6,500 6,800～6,500 6,300～6,000 5,500～5,200 5,800～5,500 5,800～5,500 5,300～5,000 4,800～4,500 4,300～4,000	6,800～6,500 6,800～6,500 6,300～6,000 5,500～5,200 5,800～5,500 5,800～5,500 5,300～5,000 4,800～4,500 4,300～4,000		カット 100g 98～88円	南九州が梅雨明けとなり、気温高が続いているが売価高の影響が大きく、また、野菜全般に荷動きが非常に鈍く、ながいもの引合いも強くはない。 現在価格を徐々に下げたことにより、幾分動きがでてきている等階級もあるが、全般的に弱めの販売が続いている。 今後は北九州地方も梅雨明けとなり、消費も活発になると思われるが、反面、売価高の影響が懸念され、来週も現在の価格を保ったまま推移する見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,200～ 6,200～ 6,000～5,500 5,000～ 6,000～5,800 6,000～5,800 5,500～5,200 4,500～4,300 4,400～4,200 4,000～3,800	6,200～ 6,200～ 6,000～5,500 5,000～ 6,000～5,800 6,000～5,800 5,500～5,200 4,500～4,300 4,400～4,200 4,000～3,800	なし	1本売り 480～円 カット 100g 84～78円	本県産中心の販売。 引続き、ながいもの需要期ではあるものの、売価高から末端の荷動きは鈍い。ただ、人参の選果が始まったことにより入荷量は減少している一方で、安価な転送品の案内が非常に多く、市況は下げとなっている。 来週以降についても入荷量は少ないものの、荷動きが鈍く、仲卸在庫が多い中で、安価な転送品の案内が続く見通しとなっており、弱含み推移の見込み。

品名 にんにく

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 香川県産	A 2 L A L A M 秀 3 L 秀 2 L 秀 L	2,200~2,000 2,000~1,800 1,800~ 1,600~ 1,600~ 1,400~	2,200~2,000 2,000~1,800 1,800~ 1,600~1,500 1,600~1,500 1,400~1,200	—	L 1 P 298~258 円 M 1 P 198~178 円 中国産 3 P 100 円 ｽ [◦] ｲ [◦] 産 1 P 158~98 円	西南暖地産の乾燥品中心の販売となっている。 香川県産は病害虫の影響から、乾燥品の出荷が少なく、総体量の少なさから引合いは強い。 来週について本県産の乾燥品も徐々に増量となるが、総体量の少ない状況は続くことから、引合いは強い状況が見込まれる。
名古屋	本県産	A 2 L A L A M B 2 L B L B M			なし	L 1 P 258~198 円	乾燥にんにくの販売が一部始まった中、28年産の流通在庫はほぼ整理されており、29年産への切替えに向けた売場づくりが進められている。
大阪	本県産	A 2 L A L A M	2,500~ 2,300~	2,500~ 2,300~		L 1 P 298 円	本県産の生品の販売。 今週から、乾燥品の販売開始となった。 流通量が少ないため引合いは強まっており、堅調な販売で推移した。 来週についても、同様の傾向は続き、堅調な販売となる見込み。
東北	本県産	(乾燥) A 2 L A L	2,200~2,000 2,200~2,000	2,200~2,000 2,200~2,000	なし	L 1 P 298 円	本県産中心の販売。 生品の入荷はほぼ終了となっており、一部本県産乾燥品の入荷が始まっている。入荷量の少なさから、堅調な販売となっている。 来週についても、引続き入荷量の少ない乾燥品は保合での販売となる見込み。

品名 きぬさや

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	1 kg	1,800~	1,800~			各東北産地の出荷ピークは過ぎ、入荷量は減少となった。しかし、後続の北海道産についても入荷が始まっており、来週は入荷量増となる見込み。 来週について、後続産地への切替が進むなかで、本県産については相場は保合で推移する見込み。
名古屋	本県産 岩手産 北海道産	A L A M	1,800~1,500 2,000~1,600	1,800~1,500 2,000~1,600	なし		本県・北海道産中心の販売となっている。 北海道産が増量となったものの、本県産が終盤を迎え数量減となったことや、高温により良品物の入荷が少なかったことなどから、価格については概ね保合での販売となった。 本県産は今後減少となることから、市場集約をしながら有利販売を図りたい。
東北	本県産	A M	2,000~1,800	2,000~1,800		—	本県産中心の販売。 東北産および北海道産の潤沢な入荷が続いたことから、弱保合推移での販売となった。 来週については、本県産含む東北各産地からの入荷量は減少傾向で推移する見通しとなっているものの、他県産との単価差から保合で推移する見込み。

品名 だいこん

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A 2 L A L	800~ 700 900~ 800	800~ 600 900~ 700	—	1本 198~178円 ハーフカット 98円	本県産、北海道産中心の販売となっている。 北海道帯広地区、羊蹄地区等順調に入荷が続いている。しかし、品質が安定せず返品等が散見される。本県産については他作業の影響から入荷量は減少しているが、道産の入荷が潤沢であるため総体量は変わらず多い状況が続いている。 来週について、本県産は減少予想ではあるものの、北海道産の入荷が潤沢であることから、相場は弱保合で推移する見込み。

品名 だいこん No. 2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
名古屋	本県産 北海道産	A 2 L A L	800~700 900~800	800~700 900~800		1本売り 198~158円	<p>本県産・岐阜県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>本県産については、にんじんの収穫作業等からやや減少傾向となっているものの、他県産の増量から潤沢な入荷となっており、価格については概ね保合での販売となった。</p> <p>来週についても、引続き北海道産等の潤沢な入荷が続くことから、今週同様に保合での販売が続く見込み。</p>
大阪	北海道産 本県産	A 2 L A L	800~ 900~	800~ 900~		L 1本 138円 ハーフ 73円	<p>北海道産・本県産の販売。</p> <p>本県産が減少しているため、入荷量は少ないものの、他のやさい同様、末端消費は鈍い状況となっており、価格は弱保合での推移となった。</p> <p>来週以降についても、同じ傾向は続き、価格は弱保合で推移する見込み。</p>
東北	本県産	高冷地 A 2 L A L 平場 A 2 L A L	700~ 600 800~ 700 1,000~ 900 1,200~ 1,100	700~ 600 800~ 700 1,000~ 900 1,200~ 1,100	—		<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産中心の入荷の中で、北海道産の入荷も潤沢であったことから市況は下げで推移した。</p> <p>来週についても、入荷量は変わらないものの、荷動きは鈍く、市況は弱保合推移の見込み。</p>

品名 こ か ぶ

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	800～ 700 800～ 700	800～ 700 800～ 700			<p>本県産中心の販売。 千葉県産の入荷も減少し、売場は本県産へとシフトしている。しかし、本県産の入荷もピークを迎えており、荷動きは鈍い。</p> <p>来週について、雨の影響で播種が進まなかった時期の収穫となることから、入荷は微減。保合での販売となる見込み。産地・消費地の双方で高気温が続いており、品質不良が散見されているため、出荷時の検品をお願いしたい。</p>
名古屋	本県産	A 3 L A 2 L	800～700 800～700	800～700 800～700			<p>本県産中心の販売となっている。</p> <p>3Lを中心に安定した入荷となったものの、やさい全般の荷動きの鈍さもあり、販売企画が少なく弱保合での推移となっている。</p> <p>来週についても、安定した出荷量が見込まれるものの引続き全般に荷動きの鈍い状況が見込まれることから、弱保合となる見込み。また、高温の影響と思われる葉の傷みや変色が散見されることから選果・選別の徹底が必要と思われる。</p>
大阪	本県産	A 3 L A 2 L A L	700～ 1,200～ 800 800～	700～ 1,200～ 800 800～			<p>本県産中心の販売。 産地および消費地での気温上昇に伴い、徐々に葉の黄変が見え始めており、販売の中心となる2L級以外で価格は下げ基調での推移となった。</p> <p>来週についても、同じ傾向は続く見込みとなっているが、産地での検品の徹底をお願いいたします。</p>
東北	本県産	A 2 L A L	800～ 700 800～ 700	800～ 700 800～ 700			<p>本県産中心の販売。 安定した入荷が続いているなかで、荷動きの鈍さから市況は下げ基調で推移した。</p> <p>来週についても入荷量は大きく変わらない見込みとなっており、弱保合で推移する見込み。</p>

東京	本県産	Aコン	1,800~1,500	1,500~			<p>関東近在産中心に福島県産の販売となっている。</p> <p>今週の週前半にはハウス物と露地物の端境となり、入荷量不足から市況は強含みで推移した。しかし、週後半には相場の底上げから注文が減り込んだ上に、入荷量増となったことから下げ基調となった。</p> <p>来週についても、引き続き東北産が増量の見込みから相場は弱含みでの販売となる見込み。</p>
----	-----	-----	-------------	--------	--	--	---

品名 に ん じ ん

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	本県産 AL AM 千葉県産 (予冷) AL AM	本県産 1,000~900 1,200~1,000 800~700 1,000~900	本県産 1,000~900 1,200~1,000 800~700 1,000~900		L3P 158~148円 M3P 148~128円	<p>本県産および関東近在産中心の販売。</p> <p>千葉県産については、大部分は出荷終了となっているが、いくつかの産地が来週いっぱいのお荷。北海道産については、函館地区の出荷は概ね7/20前後で出荷終了となる見込みだが、後続の富良野・美幌が7/24週からの出荷となることから、切れ目のない入荷が見込まれる。</p> <p>来週について、千葉県産の残量もなくなることから総体量は微減だが、夏休みが始まり給食需要が減退することから、相場は保合で推移する見込み。</p>
名古屋	青森県	A2L AL AM	900~800 1,000~900 1,100~1,000	900~800 1,000~900 1,100~1,000		L3P198円 M3P158円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>連休を控えバラ売り企画なども組まれたことから発注がやや戻り、流通在庫は解消傾向にあるものの、引続き各産地とも潤沢な入荷となっており弱含みでの販売となった。</p> <p>今後、入荷比率の高い2Lについては、学校給食向けの需要も減ることから引合いは弱まる見込みとなっている。</p> <p>また、北海道産については気温高から生育が早まっており、十勝地区で7月24日頃からの入荷見込みとなっていることから、本県産については早めの切り上がりが望まれる。</p>

大阪	本県産 北海道産	A 2 L A L A M	900~ 800 1,100~ 900 1,200~1,000	900~ 800 1,000~ 900 1,100~1,000		M 3 P 158 円 L 1 本 79 円	<p>本県産・北海道産の販売。</p> <p>前段産地が整理されたものの、末端消費が鈍いことと、仲卸在庫が溜まっていることから、入荷量は減っているにもかかわらず荷動きは鈍いままで、価格についても弱保合で推移した。</p> <p>また、価格は弱保合となっているが、量販店の売価設定に大きな変化は見られていない。</p> <p>来週については、学校給食が終了し、幾分需要が落ち着くものの、北海道産が徐々に減少するとの予想から、価格については弱保合推移となる見込み。</p>
----	-------------	---------------------	---------------------------------------	---------------------------------------	--	-------------------------------------	--

品名 にんじん No. 2

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
九州	本県産	A 2 L A L A M A S	1,100~1,000 1,100~1,000 1,100~1,000 1,000~900	1,100~1,000 1,100~1,000 1,100~1,000 1,000~900		3P/158 円	<p>長崎・熊本県産の残量が今週で終了し、来週から本県産のみの販売となる。</p> <p>しかし、量販店では今年産の気象背景から九州産地の品物の懸念がないことから、まだ、長崎・熊本県産の品揃えをしている量販店もある。</p> <p>来週も潤沢な入荷量となる見込みの中、現在の価格を保ちながら、流通在庫の軽減に努め、荷動きの回復を優先していく。</p>
東北	本県産	A L A M	1,000~800 1,000~800	1,000~800 1,000~800		A M 3P/158 円	<p>本県産中心の販売。</p> <p>先週で関東産の入荷は終了となったものの、仲卸在庫が残っており、本県産は潤沢な入荷となったことから市況は弱保合推移となった。</p> <p>来週につきも、本県産の潤沢な入荷が続くことから弱保合推移の見込み。</p>

品名 ばれいしょ

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
-----	------	------	-------	---------	--------	-------	------

名古屋	本県産 静岡産	A 2 L	メーク 2,500	メーク 2,300～			<p>本県産・静岡産中心の販売となっている。</p> <p>前段産地は、干ばつ傾向からS級以下の小玉が多く売りづらいうえ、消費地は高温で末端の荷動きは活発でないこともあり、売場は平年に比べ狭い状況となっている。</p> <p>来週については、本県産は入荷増となり売場切替えは徐々に進むと思われるが、北海道産の前進傾向もあり弱含みでの販売となる見込み。</p>
		A L	2,500	2,300～			
		A 2 L	男爵 2,200～2,000	男爵 2,000～1,800			
		A L	2,200～2,000	2,000～1,800			